



あるく

3号「あるく」2024年5月

地域を歩いて
みんなで
考えよう

vol.03

お任せ民主主義から、
一歩、一歩、民主主義を
バージョンアップしよう！

原発の再稼働をするか、
しないかだって、
私たちの投票で決めよう！

つくばみらい市の皆様へ ご協力をお願い

いばらき原発県民投票の会は、東海第二原発の再稼働の是非を問う県民投票に向けての直接請求(署名集め)を4月から始める予定でした。ところが、日本原子力発電(株)は3月に「今年9月の安全対策工事完了は厳しい」と会見で述べました。そこで、会としては、前回の否決の理由の一つとされた「時期尚早」とならないよう、4月署名スタートは延期すると決めました。

今後、安全対策工事の進捗状況を確認しながら、スタート時期を決めていく予定です。

この延期になった時間を有効に活用し、署名集めの協力者を増やしていきたいと思います。

つくばみらい市では、前回の4年前は有権者の50分の1(直接請求をするにあたっての法定署名数)の844を下回り672筆でした。今回は人口も増えていることから約900筆と考えます。そのことから1,5倍の1350筆を目標におきたいと思います。

ご協力よろしく申し上げます。



能登半島地震に思う

改めて元日の「能登半島地震」で亡くなられた方に哀悼の意を、また被害を受け、避難を余儀なくされた方にお見舞いを申し上げます。いまだに多くの方が避難所や二次避難として故郷を離れて暮らしています。元日の「緊急地震速報」に驚き、テレビなどの中継で次第に明らかにされる被害の状況に見入っていた方も多いと思います。

能登半島には「志賀原発」があり、建設中止になった「珠洲原発」も震源近くに計画されていました。「志賀原発」は運転停止中だったために大きな事故にはなりませんでしたが、奥能登では9割近くの家が倒壊し、また「大津波警報」が出されるような状況で「屋内退避」は考えられません。避難をするにしても道路は寸断され、港も津波や海岸の隆起で使えない状況でした。原発を建設するため、能登地方は自然災害が少ないというような間違った情報が流されたとも言われています。

ひるがえって、「東海第二原発」の状況はどうでしょうか？知事は能登地方とは地形などの条件が異なるため、見直しは必要ないといっていますが。

「防潮堤」の基礎工事に不良箇所が見つかったこともあり、より慎重な検討が必要ではないでしょうか？また、避難計画も「絵に描いた餅」に過ぎなくなる恐れも十分にあります。

私たちも、自分事として発災時にどう行動すべきか考えていきたいと思いました。(丹羽)





「あるく」の質問コーナー

あるく2号を配りながら、こんなことを聞かれました。

Q 原発無くなると電気代あがるでしょう？

A 日本中の原発は「電気料金＋多額の税金」が投入されています。原発の電気は安くないのです。

それから、高レベル放射性廃棄物が残ります。最終的な処理が決まっていません。高レベル放射性廃棄物は30～50年間冷却したあとに地層処分されますが、人体に影響のない状態になるまでには、数万年以上かかると言われています。このコストもかかります。このように放射能レベルの高い廃棄物ができてしまうのも、原子力発電のデメリットです。

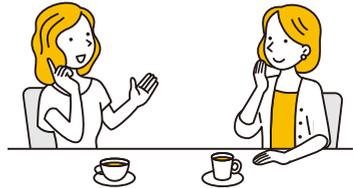
このような対話をしながら、パンフ配りをしています。(K)

お知らせ

6月8日(土)

「原発をやめれば電気料金は安くなる」
大島堅一さんの講演動画を見よう！

みらい平コミュニティセンター(研修室3) 10:00～12:00



県民投票カフェ (定例会) 参加自由

第2日曜日：みらい平コミュニティセンター：10:00～11:30

6月9日(日)、7月14日(日)



[活動報告]



「意思表示しようぜ！2024音楽フェス」を開催

3月9日(土) 水戸総合福祉会館

県庁から会場まで、デモ行進をしました。ミュージシャンらとともに歌とコールで練り歩き、参加した60名ほどが広く活動をアピールしました。

会場では水戸のバンド「ドドイツ」と大阪から駆けつけた原発国民投票の会の二人「スカピン」によるライブで大盛り上がり。最後は世話人のバンドも加わり全員で「県民投票の歌」を大合唱しました。

今後も、デモ・パレード企画をやっていきます。あなたの街で、デモ・パレードをしましょう。



〇いばらき原発県民投票の会
<http://ibarakitohyo.net>
e-mail : ibarakitohyo@gmail.com



「県民投票」についてのご質問、会の活動についての資料などをご希望の方は下記までご連絡下さい。

〇つくばみらい市原発県民投票の会
連絡先：090-8580-1288 (野口修)